



Ibaraki Oak Lions Club

かしの木

会報第47号
2016～2017
2017年6月発行



人に薦めたくなる「いいクラブ」をつくりましょう!



この1年を顧みて



会長 岸中 雅之
幹事、副会長の経験がない私が、CN35周年の会長をさせて頂くことになり、大変戸惑いましたが経験豊富なメンバーが執行部として協力をいただけたおかげで素晴らしい1年を過ごすことができました。

私個人としては、それぞれの継続事業を行う中で、事業の目的が理解できたように思い、またCN35周年記念事業をさせていただいたことで、多くの経験をさせていただきました。

3月25日の東日本復興支援チャリティーコンサート「3.11を忘れない」尾崎亜美 in 茨木では、和太鼓 Do - Da、茨木市少年少女合唱団、地元茨木のメンバーで構成された青春フォークバンドにも出演していただき賑やかなものとなりました。

立命館いばらきキャンパスグランドホール（1000人収容）の会場が立見になるのではと心配し、ハラハラしましたがトラブルなく満席状態となり多くの来場者に喜んでいただけたと思います。

公演終了後の記念例会では初めての試みでしたが立食形式で行いました。尾崎亜美さんが途中から参加していただき会場の雰囲気が華やかなものとなりました。

このチャリティーコンサートの収益は、大槌ライオンズクラブと共に検討し、おおつち野球スポーツ少年団を茨木に招待して、おおつち茨木スポーツ交流を行うことに使わせていただくことになりました。

3月24日は大槌町より小学生19名、団長、監督、コーチ、お世話をしている方を含め30名が来られ、甲子園選抜高校野球を岩手県立不来方高校の応援団に加わり応援しました。そのことが地元テレビで紹介されたそうです。3月25日は北摂つばさ高校で開催される茨木市内の高校3校と被災地宮城県の高校2校との親善試合の開会式に参加させていただき、高校球児と一諸に練習をさせていただきました。その後、茨木スポーツ少年団の玉櫛スラッガーと天王小学校で合同練習を行い、昼食を兼ねた歓迎会で交流を深めました。それから立命館大学いばらきキャンパスで行われるチャリティーコンサートを鑑賞、夕食は玉櫛スラッガーの子供達も参加して「焼肉の七輪」で焼肉パーティーを行いました。

宿泊は玉櫛スラッガーの明瀬団長の万福寺に泊めていただき、玉櫛スラッガーの子供達も数名泊まり、すっかり仲良くなっていました。

26日には西河原公園で茨木スポーツ少年団16チームの開会式に参加して、プラカードを持ち入場行進を行いました。その後オープニングゲームで茨木スポーツ少年団各チームから選抜されたドリームチームと親善試合を行い、試合終了後色紙交換を行い全員で記念撮影をしました。その後、温浴施設に行き昼食を食べ、お風呂に入り、伊丹空港までお見送りしました。その頃から雨が



降り出しましたが、この3日間天候に恵まれたことを有難く思います。

この3日間、そして27日のかしの木ボーリング大会を含めメンバー丸となり多くの人に喜んでいただくことができましたことは、クラブの誇りであり、人に薦めたくなる「いいクラブ」づくりに貢献できたことと思います。メンバーの皆様には大変大きなご負担をおかけしたと思いますが、このような経験ができることが我がクラブの良さであると改めて感じました。この一年間ご協力本当にありがとうございました。

この一年を顧みて

第一副会長 田中雅之

本年度は第一副会長としての役割を頂いた中で、クラブの違う角度で見ることができ、現在のクラブの問題点や良さを見ることが出来ました。

その中で我がクラブのアクティビティは他に無い事業を行っていることです。今日も私の知り合いの方が、友人がコンサートを見に行き「コンサート感動しました」と声を掛けて頂きました。少しずつかも知れませんが茨木オークリオンズクラブの存在を一般の方々に知って頂けているのかと感じました。

さて本年は各委員長が、非常に手際が良く私の出る番がありませんで





た。会員交流を盛んにする為に率先して委員会を開催頂きました事は誠に有難く感じております。このようにメンバーが素晴らしい奉仕活動をされればクラブの結束も良くなり楽しい仲間が出来ると感じました。

そして私の担当であります35周年記念例会開催の準備を進めてさせて頂きました。今回は0の付く周年ではありませんので設営費用を抑える様にとの事でありました。ですから立食形式で時間は短くしての例会でありましたので良かったとは言えませんが、こんな感じの記念例会もありかなと一人思っておりました。ローズの会長は昨年同じ会場で30周年記念式典をテーブル形式で開催されましたが、非常に簡略されて良かったですとのお言葉を頂きました。またクラブの活動DVD映像はクラブの勢いを音楽と映像でナレーション無しで表現出来た事は分かり易く旨く出来たと感じております。また、西川幹事も今後このような形式を他クラブにも理解して頂ければとの思いもありましたので目的に沿った結果になったと感じております。

この一年を顧みて

第二副会長 田畑 収

第二副会長をさせて頂き、特に印象に残ったのは、CN35周年記念事業の中のおおつちスポーツ交流事業を担当したことです。

一日目は、選抜高校野球(岩手県出身の不來方高校と静岡高校)の観戦です。不來方高校は負けましたが、選手はバットを振りぬき、笑顔を忘れず、甲子園を満喫していたように思います。おおつち野球スポーツ少年団はその様子を見て感動し、忘れられない思い出になったの



ではないかと思えます。

二日目は、玉櫛スラッガー少年野球団とおおつち少年野球団との練習試合です。その後、お寺(万福寺)に玉櫛スラッガー少年野球団6名と共に宿泊し、早朝は、住職の講和のあと、一人ひとりがお参りをし、お互い親睦を深めたのではないかと思います。又、初めての経験だったと思えます。

三日目は、おおつち少年野球チームと茨木市スポーツ少卒生ドリームチーム交流試合です。敗れましたが、最後の



7回目で1点獲得し、最後までベストを尽くし、満足されたのではないかと思います。

彼らが三日間を通じ、経験及び体験され、共同の意識を育てていただいたことは、成長していく中で、必ず、将来の支えになると思っています。

会長・幹事をはじめ第二副担当委員会の青少年育成・ふれあい委員会及び社会奉仕・献血委員会の皆様には、色々のご協力・ご鞭撻を頂き感謝しています。

この一年を顧みて

会計 仲 猛夫

岸中会長、西川幹事一年間お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

私は会計という役で、久しぶりに運営側

に加わりました。かつては、80名ほどいたメンバーが半減し、資金的にも厳しさが増してきています。

しかし、継続事業も実施し、35周年事業も立派にやり遂げたと思います。数は少なくなりましたが、やる時はやる有能なメンバーのエネルギーを感じています。新しい事務局・岡崎さんもすっかりクラブに溶け込み、経理もよく理解され、頼もしい限りです。私の役割の半分は岡崎さんができるようになっております。あとの半分は、西川幹事がやってくれました。

次年度に向けて一言。全メンバーの皆さん、ドネー





ションは事業のためどうしても必要なお金です。メンバーそれぞれの気持ちではありますが、最低でも5,000

円はしましょう。欠席したら次回の出席の時に多めにしましょう。以上、感想でした。感謝。

胸いっぱい、腹いっぱい…。

幹事 西川 明



35周年の年に2回目の幹事をさせていただきました。気持ちの中で2回目となると「コンナモンカナ?」と流す所と2回目なので「もう少し良い意味で変化を

…。」と思うところが交錯した一年で終わりそうです。

周年はチャリティーコンサートでは会場が溢れないかハラハラドキドキ、スポーツ交流では直前まで甲子園が一日延びてスケジュール変更でハラハラドキドキ。記念例会ではスタート時間がずれ込んでハラハラドキドキ。と、いい意味で刺激的な一年でした。

周年の多忙な一年でしたが一番記憶に残る事はL松本が逝去されたことです。L松本の物事に取り組む姿勢、ライオンズにおいても変わらず奉仕の心を受け継いでいけたらなと柄にも無く感じました。

岡崎事務局隊長も引継ぎもほぼ無いなかで初めてのことばかりだったにもかかわらず頑張ってくれたので何と



か無事に一年乗り切ったと思います。お疲れ様でした。

周年の一年、メンバーのチームワークとパワーを実感しながら、楽しい一年となりました。そして、お腹一杯になりました。ありがとうございました。感謝。

この一年を顧みて

CN35周年実行委員長 鈴木 幸次

CN35周年という節目にあたり重責を担われた岸中会長、西川幹事本当にお疲れ様でした。会長テーマ「人



に薦めたくなるいいクラブを作りましょう!」と始まった本年。私自身は前会長、周年実行委員長というこれまた荷の重い日々が特に前半続きました。自分の中でも様々な葛藤があり西川幹事には随分助けられました事非常に感謝しております。

スポーツ交流～コンサート～記念例会、怒涛の三日間でしたがクラブ全員一丸となり大成功となりました。通年事業におきまして

も若手メンバー中心に皆が頑張っていた様に思います。

改めて茨木オーライオンズクラブの「らしさ」を再確認できた一年ではなかったでしょうか?

最後になりましたが故L松本に教えて頂いた茨木オーライオンズクラブの魂を受け継ぎ今後も頑張っていく所存です。

三役、執行部並びに各委員メンバーの皆様、本当にこの一年お疲れ様でした。



あっという間の27年

会員・会則委員長 今井保雄

平成2年に入会して以来今年で“もう27年過ぎたんだなあー”と云うのが実感です。入会当時は何もわからないまま、事業に参加していましたが、先輩達にいろいろアドバイスをいただき、少しずつライオンズクラ



ブの奉仕活動が、私なりに理解出来てきました。その後いろいろなお役をさせていただき、私にとって大きな心の財産を頂きました。

さて、今年は3名の新入会員を迎えることができ会員の平均年齢が下がり、若く活動的なクラブになり喜びを感じます。次年度に向けての新しいオークライオンズの活動を期待します。



新入会員入会にご協力いただきメンバーの皆様方には大変感謝いたしております。本当にありがとうございました。

「この一年を顧みて」

テール・ツイスター 原田 強



私自身これまで例会にあまり出席できていませんでしたが、今年度初めてテールツイスターをさ

せて頂きまして、ほぼ毎月例会には出席できたと思っています。やればできるんだなあと反省も交えて感じました。

テールツイスターでは、毎回何かテーマを考えメンバーから発表をしていただく事が多かったのですが、突然の指名でも各メンバー嫌がらず発表していただき本当にありがとうございました。この1年間テールツイスターを通じて皆さんと深く交流ができましたことを感謝いたします。ありがとうございました。



この一年を振り返って

テール・ツイスター 林 穰二

茨木オークライオンズクラブに入会し二年を迎え今期はテーマを任せられました。皆さんの



ご協力のもとなんとか一年を終えようとしています。

今年にはテーマという役をさせて頂いたおかげで事業を決めていくプロセスにふれることができよい勉強になったと感じています。

今年の最大のイベントは何と云ってもチャーターナイト35周年記念事業です。

おおつち野球スポーツ少年団の招待・東日本復興チャリティーコンサート・チャーターナイト35周年記念式典の三本立ての濃密なイベントでした。

事業を推進された岸中会長をはじめ西川幹事、鈴木実行委員長、各担当者のみなさんおつかれさまでした。みなさんと共にこの事業に参加させて頂き貴重な経験を得ることが出来ました。

ありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いたします。



「この一年を顧みて」

指導力・接待・出席・大会委員長 辻田 宗一

この一年間二度目の指導力・接待・出席・大会委員長を務めさせていただきました。

この役を引き受けることは、例会出席がほぼ100%求められることです。

そして、出席率の向上を目指さなければならないことでもあります。

この一年間、まず楽しい例会となるよう計画委員会・テールツイスターの皆さんが工夫を重ねていただき、山あり谷ありではありましたが、吉田副委員長のご協力により無事役目を終えることが出来ました。

ただ、残念であったことは、出席を続けてこられたL山田、L松本、L森が病欠となってしまわれたことでした。

クラブの状況も変容してまいりましたが、例会出席はメンバーの基本的義務であります。スポンサーのさらなる指導と援助を切望いたします。感謝！！



かしの木にそえて

計画・P R I・T委員長 西田 英雄

今期は、従来の計画、P R、I T委員会を統合されて、新たに計画・P R・I T委員会の担当になり、委員会構成メンバー14名で委員会を運営することになりました。この委員会は、会長テーマ人に薦めたくなる「いいクラブ」をつくりましょう！をもとに例会を楽しくし、会員が一人でも多く参加できるような例会運営を援助し、会員相互の親睦をはかりとともに、クラブの基本とされる〔We S e r v e、われわれは奉仕する〕を基盤にして、計画・P R・I T委員会は数回の委員会を開催しながら委員会の方向づけをしてきました。

委員会の展開については、計画は、例会運営に影響を

与える重要な委員会です。ですから、時節の例会にふさわしい内容の行事を実施するために、委員会で話し合いの論戦

しながら意見集約をつなげ、陶芸体験家族例会、茨木ローズライオンズクラブ合同例会、クリスマス家族例会、新緑家族例会を実施し期末には、最終例会で年間計画を終わりにします。

P Rは、ライオンズクラブ国際協会335-B地区として、永年取り組んでいる国際平和ポスターの継続事業です。

今年は「第29回国際平和ポスター・コンテスト」茨木市内4クラブのホストクラブとして活動いたしました。国際平和ポスター・コンテストに参加した茨木市内の小学校32校(内訳茨木L C 13校、茨木ローズL C 7校、茨木ハーモニーL C 2校、茨木オークL C 10校)作品数3,284点表彰43点、佳作展示346点、茨木市立生涯学習センターきらめき2Fで展示・表彰を実施いたしました。

経過を見ると年ごとに参加点数の増減が見られ、学校によって指導方針の変化・変貌などにより増減したのではないかと思います。作品は、依頼テーマ(平和万歳)に付属しない作品も多くありましたが表現・描写・色彩等に美的感覚に優れた作品が目立ちました、このことは、ライオンズクラブ国際協会335-5 B地区P R・I T委員会でも見られました。

I Tは、クラブの活動・行動・行事の記録と保存をしながら、クラブ会員に伝達し会員相互のクラブ運営に参画依頼と周知を知らしめる業務です。

常に、内外的なクラブ運営活動に参加して、その成り行きを記録保存しております。

いずれの部門も、早めの行動予定を立案し、計画的に実行しなければクラブの運営に遅れてしまいます、また

委員会メンバーにも委員会の方針を周知していただき、円滑な委員会活動につながるよ



う努力したいものです。

計画・P R I ・ T 委員会の L 牧田、L 脇澤、L 大河原、副委員長には大変ご努力を賜りました厚く感謝いたしますとともに会員各位のご支援ご協力に感謝申し上げます。

「この一年を顧みて」

社会奉仕・献血委員長 岡田藤男



昨年度の、「兄のランドセル」から、やっと一服してスタートするはずだった今年度。そこへ、

悪魔のような今期の会長幹事のささやき。

「委員会をまとめて、多くのメンバーが各委員会に参加できるようにしたい。については、市民社会奉仕、Y C E、献血の統合委員長を受けてくれ、青少年育成・ふれあいは L 松本、そして計画と P R ・ I T は L 西田」ここから今期の怒涛のような一年が始まりました。

私だけでなく、L 西田そして L 松本も同じ思いだっただろうと思います。

この3人がメインの委員長だと結構楽しいかもと淡い期待もあったのですが…。

今期が始まる前から、フェスティバル「居酒屋かしの木」とジャズフェスタの準備。Y C E の派遣、次に待ち受けるのは献血。最後に油断したところに Y C E の受け入れ。この間に、会長重点事業「3.11 を忘れない 尾崎亜美コンサート」のチケット担当。

これ位ばやくと、全部自分が大変な思いをしながらやったように聞こえますが、フェスティバルの当日にゴルフでエスケープしたり、結局、副委員長をはじめ、メンバー各位におんぶに抱っこ、自分がやったことといえ

ば、コンサート当日の入場者がオーバーしないかと冷や冷やした事位でした。

改めて委員長のいい加減さにめげず成功に導いていただいたメンバーの皆さんありがと



うございました。

ただ、私だけでなく、クラブとしての最高の収穫は「委員長がいなくとも、頼りなくとも、メンバーが皆でやれば何でもできる」これこそが、ライオンズクラブの真髄ではないでしょうか。

6月の終わりには、L 松本、L 西田と3人で、「俺らに任せとけばこんなもんじゃ、どうや!!」と酒をくみかわしたかったのですが、一人が欠けてしまいました。

残念で悔しいですが、L 松本の敷かれたレール、バトンを引き継いで、まだまだこの世で頑張らなければと思います。

新しく入会されたメンバーの皆さんに、私と L 松本の共通したライオンズクラブへの思い、わかっただければと思ひ最後に記します。

「自分たちの持てるいささかの余力、時間・知恵・体力・資力をもって奉仕する。そのご褒美が、人との出会いである。」

「かしの木 この一年を顧みて」

青少年育成ふれあい委員会 副委員長 開原孝之

茨木オークライオンズクラブに27年10月入会してから約1年半が過ぎました。

この度は、ライオンズのスローガン「We serve」「われわれは奉仕する。」一つの事業に取り組むエネルギーの大きさ、支え合い助け合うことの大切さを再認識した一年でした。

茨木市の小学生が毎年楽しみにしているオークライオンズ恒例事業「第19回茨木市長杯少年少女将棋大会」担当を、幹事 L 西川からご指名頂きました。

まだ1年経過していませんよ。「私がいきなりですか！将棋大会？をですか！」

その折に L 松本青少年育成ふれあい委員長（故）の体調不良をお聞きしたことが引き金となり私の出来ることであれば是非、やってみようと言う気持ちになりました。右も左も分らない不慣れな頼りない代役。

遅れ遅れの作業になりました、が、先輩方々のアドバイスが支えとなり事務局岡崎さん、関係各位（市長、教育長他、宮本五段、将棋連盟関係者各位に助けられ、なんと2月11日の将棋大会にこぎつけました。

メンバーの皆さんと大会準備前日、当日準備、閉会





後の片付けまで役割分担、チームワークが素晴らしく「ツーと言えばカーと言う、体育会系のメリハリ緊張感を感じた日々で、お陰様で将棋大会参加者も目標人数を上回り、無事閉幕することが出来ました。

担当として振り返ってみると、道のりは長く険しいと思いきや、工程をひとつひとつこなしていくうちに、達成感がモリモリと盛り上がりました。

また、年間事業行事にもメンバーの皆さんと一緒させていただき、充実した有意義な一年を過ごさせて頂くことが出来ました。有難うございました。

このクラブに入会して楽しく思ったことは、L掛谷企画の石川県ゴルフ、観光ツアーでした。

お泊り旅行はいい思い出になり、優待会員L大脇、L加藤のパワフルさには感激しました。これからもよろしくお願いします。

今期クラブ会長テーマ 人に薦めたくなる「いいクラブ」を作りましょう。

身近な友人にも、薦められるような、楽しいクラブになるように、努めさせて頂きたいと思います。

「この一年を顧みて」

青少年育成ふれあい副委員長 杉本憲一



この一年、青少年育成ふれあい副委員長として活動させていただき、その中でも「レインボーサークル」の担当をさせていただきました。毎月のレイン

ボーサークル運営委員会に参加させていただき、皆さんの思いや活動状況を知る貴重な経験をさせていただきました。主な事業は10月開催の「ふれあいフェスタ」で、初めて準備からの段取りをしました。参加される皆さんの良い表情を見ると、各施設の皆さんがこの事業に一番力を入れておられる理由がよくわかりました。

また本年度に「カラオケ大会」や「バザー」が場所の関係で開催されなかったのが残念でしたが、次年度は開催できるよう期待したいと思います。ふれあい委員会の事業は、我がクラブの重要な事業の一つであると再認識しましたので、今後も継続してこの事業発展のために

取り組んでいければと思います。この一年間、皆様ご協力有難うございました。



「この一年を顧みて」

新入会員 橋本健二

あっという間の一年でしたが日頃、自身の仕事以外に事務所のイベントと日本商環境デザイン協会の活動や茨木ヴィンテージカーショーの実行委員長での



活動があり、なかなかオークライオンズクラブの活動に参加できなかったことに少し反省しています。

普段、文化的な事業に関して、いろいろ参加してしまして街に対して、どのように提案するかを自身の仕事の建築設計・商業空間設計の関わりから考え関わっています。

それ以外に、父が関わっていた福祉関係にも興味がありましたから去年クラブに参加しました。

福祉関係ばかりでは無いと思いますが、正直クラブの活動内容をすべて把握していませんでした。この一年で内容を把握したつもりです。

それと思うことは商環境デザイン協会でも同じところと言えますが、新規会員の入会の難しさです。

最近ではデザイナーに限らず、何かコミュニティーを形成する場合、そういう協会に入らなく、自分たちで、それらを形成していく形が多いです。デザイン協



会もなかなかそれに気がつかなく外に対しても提案が少なく、会員も高齢化していき新鮮味も無くなってきました。

オークライオンズクラブも、活動内容とクラブの魅力を、どう表現できるかが課題でしょうか。偉そうなことを言って申し訳ありません。

いい伝統は継承し、周りの流れも意識しながら変化もあってもいいかもしれません。

※ 2016・6 第二例会入会

この一年を顧みて

新入会員 藤井通央

私がオークライオンズに入会させて頂いたのは、L岸中が会長されており、普段からお世話になっているから



です。いろいろ説明を聞いているうち、興味を持ちました。そして何とかお役に立ちたいと思いますが、なかなか思うように行きませんでした。ご迷惑になったかもしれません。でもその中でも良い思い出になった事があります。

それは、C N 35周年事業で得た体験です。チャリティーコンサート、少年野球団の招待、C N 35周年式典、これを一度にこなすチームワークはすばらしいことだと思いました。そのことは、私にとってとても良い経験となりました。

また、いろんな方とも知り合いになることができ、交友が広がりとても有意義だったと思います。



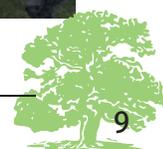
この一年あまり参加できませんでした。できる限り参加していきたいと思っておりますが、なにせ多忙なのと時間があまりとれないので、ご迷惑になると思います。その中で自分に出来ることを考えお役にたっていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

※ 2016・7 第二例会入会

第6回 ビッグバンドJAZZフェスタin茨木



居酒屋 かしの木 茨木フェスティバル出店



会長重点事業 CN35 周年記念事業

チャーターナイト 35周年記念事業

東日本震災復興支援チャリティーコンサート

「3.11を忘れない」尾崎亜美 in 茨木



会長重点事業 CN35 周年記念事業



大槌・茨木スポーツ交流



会長重点事業 CN35 周年記念 大槌・茨木スポーツ交流



レインボー運動会



第19回 茨木市長杯少年少女将棋大会



C N35 周年記念例会



第 834 回 7 月第一例会～



第846回1月第一例会～





発行 **茨木オークライオンズクラブ** 編集：PR・IT委員会

〒567-0882 茨木市元町5番23号 URL <http://www.ibaraki-oak-lc.com>
 TEL(072)626-1431・FAX(072)625-7821 E-mail:info@ibaraki-oak-lc.com